

部活動地域連携・移行に対する
日本体育大学の取り組み

日本体育大学 齊藤隆志

地域移行に対する日体大の取り組み



①指導者紹介

- 教職員による個別紹介
- 社会貢献推進機構による組織紹介
- NITTAIクラブによる人材紹介



②地域クラブ運営

- 一社NITTAIクラブ
- 大学の資源を有効活動
- 地域スポーツ振興
- NITTAIクラブによる人材紹介



③学識的アドバイス

- 教委等で学識的参与
- 講演
- 研究





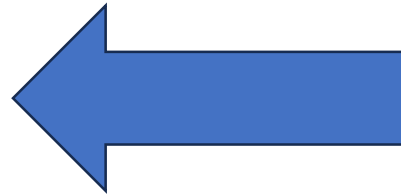
日本体育大学の取り組み(指導者紹介)

個別的紹介

組織的紹介

人材紹介

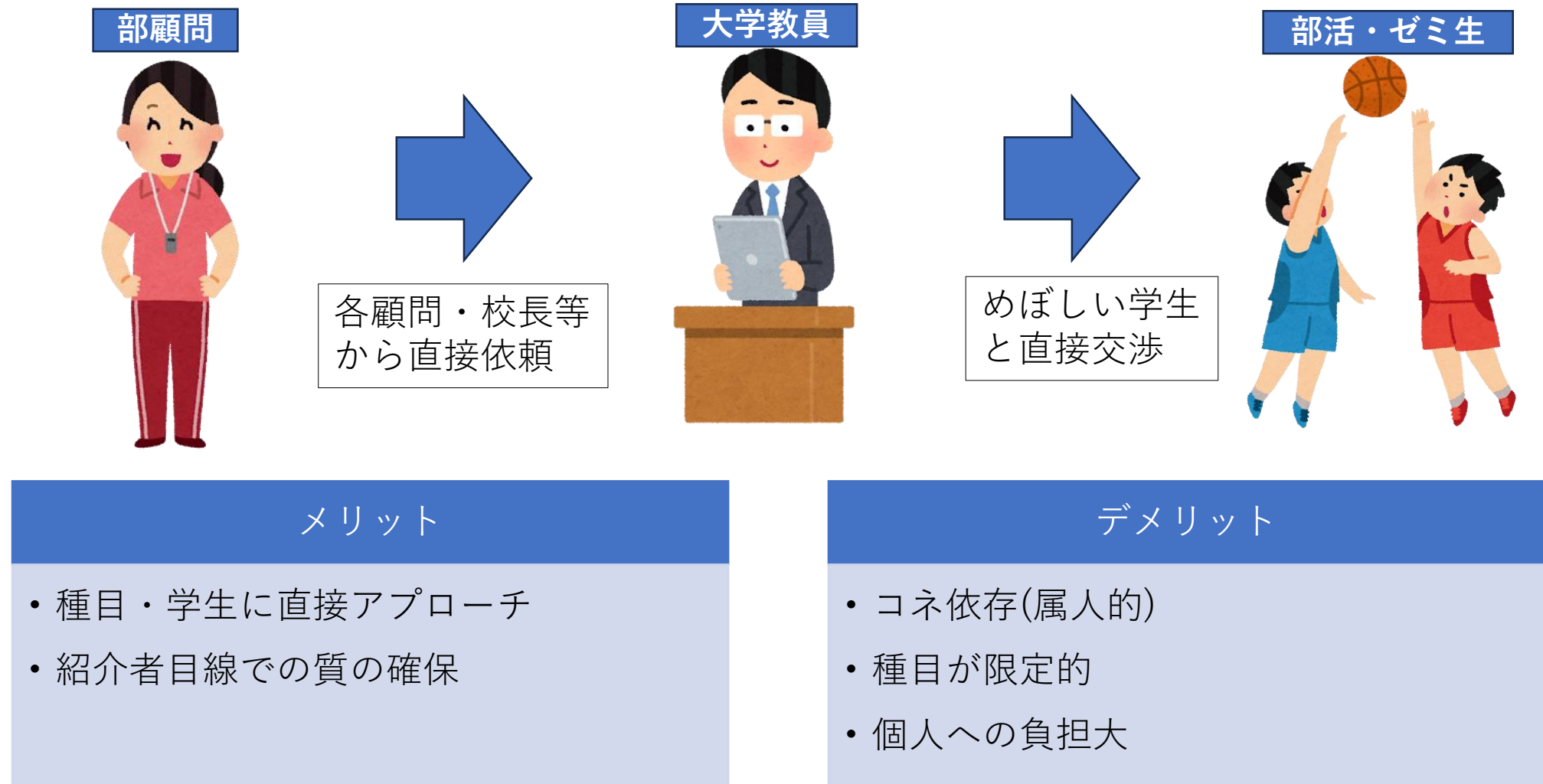
指導員



紹介依頼

中学校
地域

個別的紹介：コネによる直接紹介



大学組織的紹介：マッチングシステム



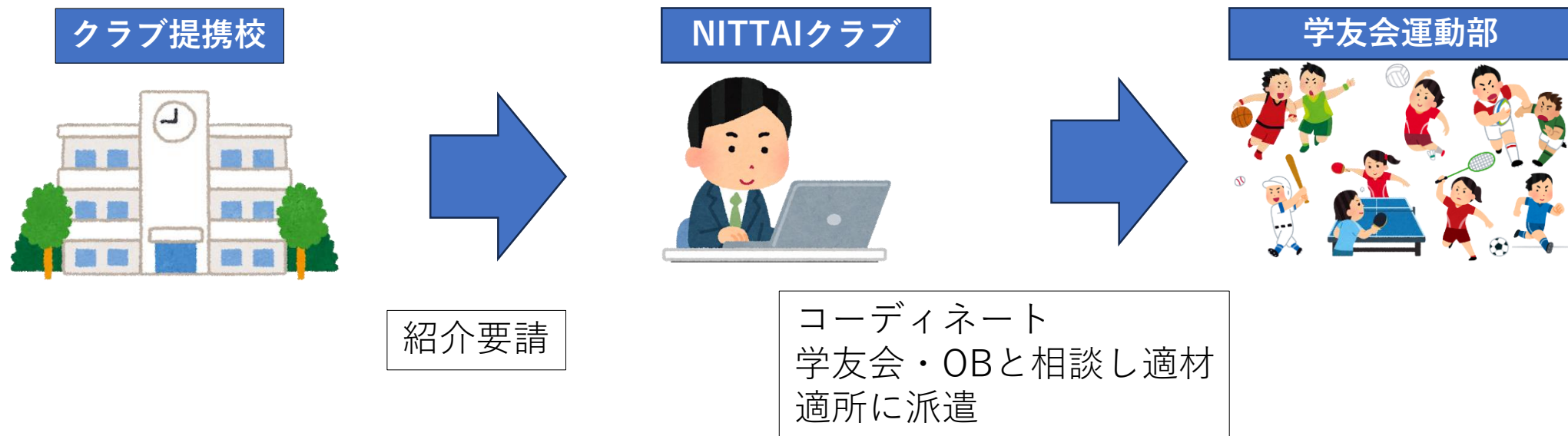
メリット

- 大学窓口へ依頼(コネなし)
- 種目制限なし
- 全学生(マス)へ周知可能

デメリット

- マッチング力(小)
- 学生の意欲(ばらつき)
- 不特定多数、情報伝達力(弱)

人材紹介：一社NITTAIクラブによる紹介



メリット

- エージェントによるコーディネート
- 多種目へ個別照会
- 豊富な人材ネットワーク(学生、OB、(同窓会))

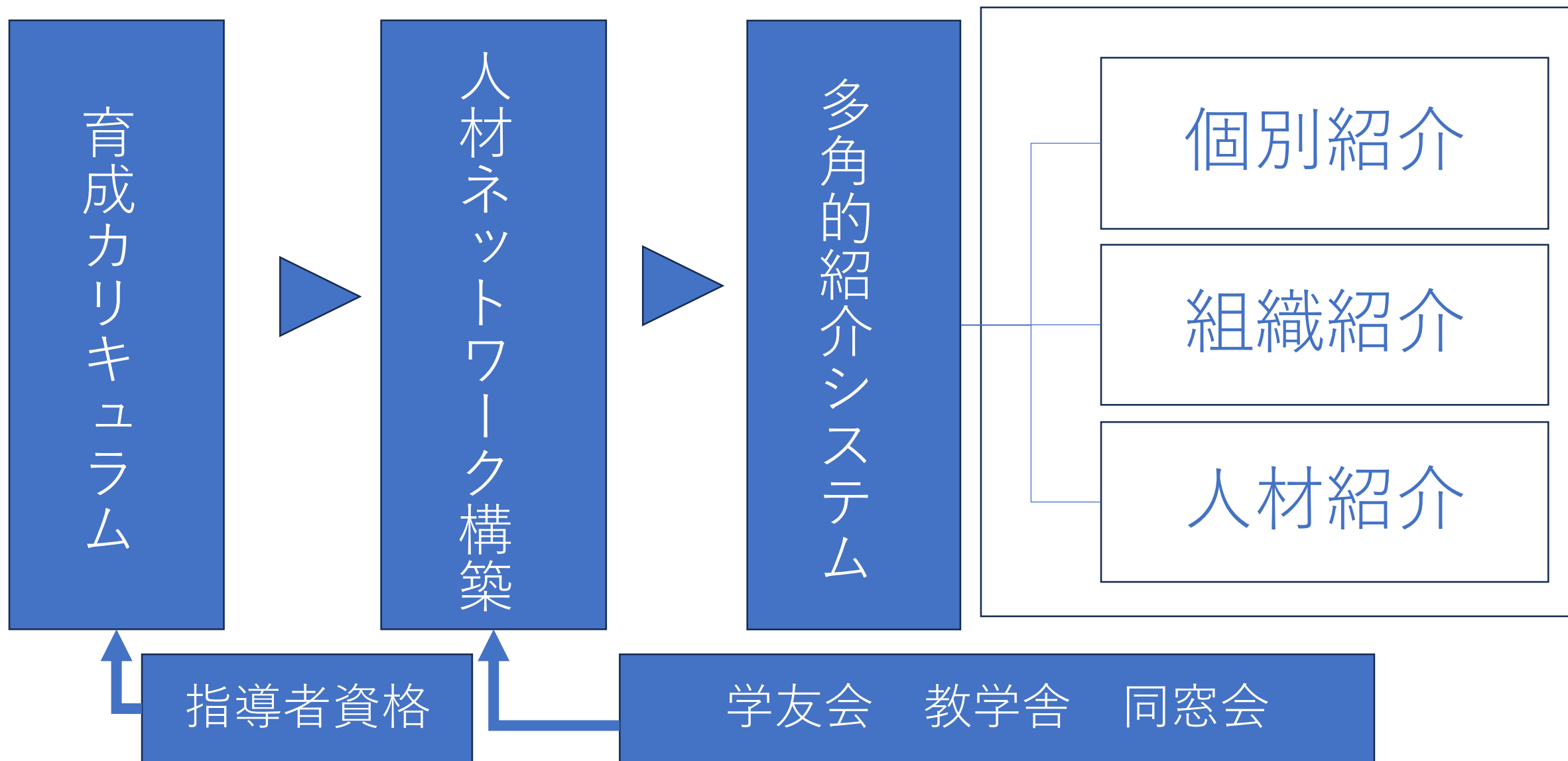
デメリット

- 創業時・不安定・信頼が不十分
- 人的コスト
- 提携校に限定

地域移行をめぐる日体大の課題

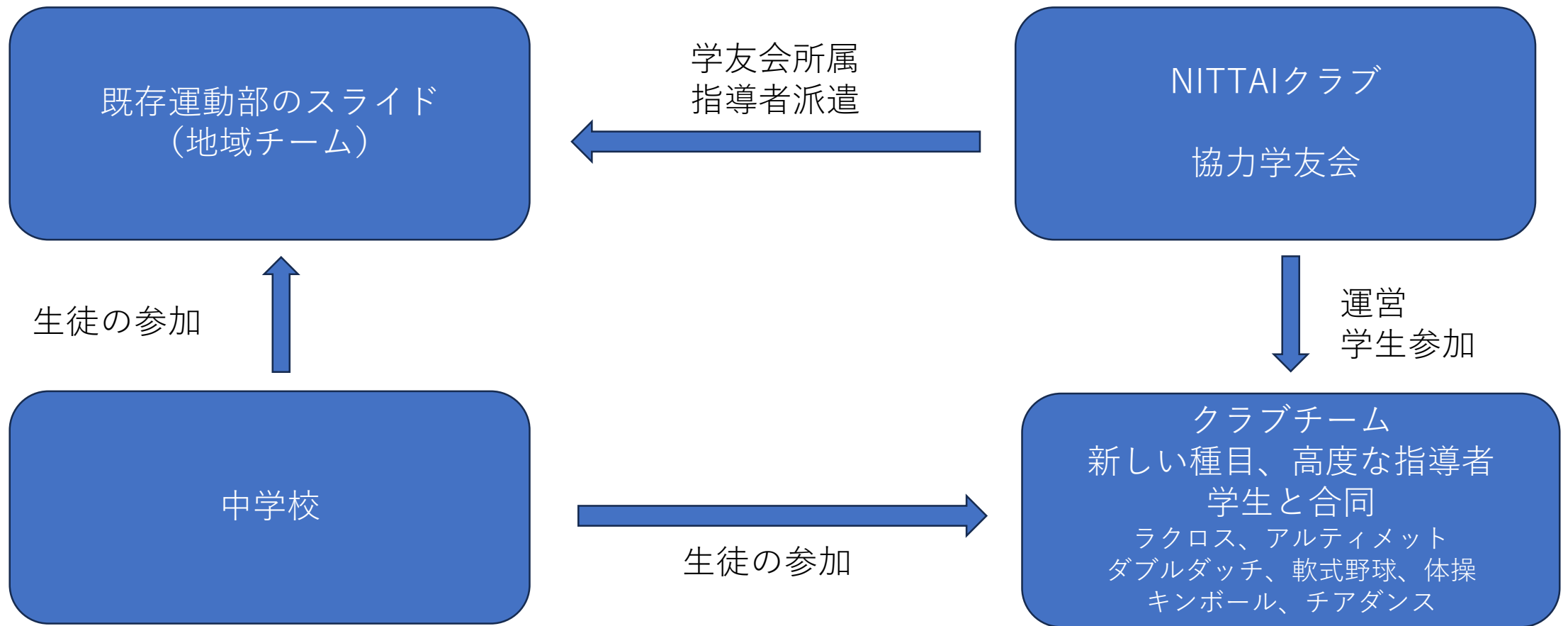
課題	対策
• 指導者人材育成が不十分 （資格取得者少、卒業時） • 属人的対応も多い • 組織対応が形式的	• 指導者育成システム(再)構築 • 教学舎、同窓会との連携 • NITTAIクラブの完全操業 • クラブマネジャー • 人材育成マネジャー

将来的イメージ



NITTAIクラブによる地域移行モデル

ー持続可能な指導者派遣システムを目指してー



一般社団法人NITTAIクラブについて

- 設立趣意
- 日体大が有する豊富なスポーツ資源を活用して地域課題解決と共生社会実現のために社会貢献する
- 主な事業
- 総合型地域スポーツクラブ（NITTAIクラブ世田谷・横浜）
 - 現在5種目展開（20団体以上が関心表明）
 - 多世代、多種目、多目的な
- 指導者紹介（部活動地域移行対策）

NITTAIクラブによる人材派遣事業

<特徴>

- 学友会、OBのネットワークを使った豊富な人材
- エージェントを通した適材適所
- 研修システム

<条件>

- NITTAIクラブの設置（単種目で可）
 - <教育効果> 授業以外の種目多数、レク志向、学生と交流など展開可
 - <協力学友会> ラクロス、アルティメット、キンボール、ダブルダッチ、セパタクロー、チアダンス、サッカー、軟式野球、体操
 - 地域課題解決のための活動資金が必要
- スライド型地域クラブへの派遣
 - エージェントによる最適なマッチング
 - ただし指導者への謝金を、TPRO

まずはNITTAIクラブの
学校内・地域内設置

地域移行のタイプ

スライド型



ビジネス型



地域クラブ



運営母体

☐ 運動がスライド

☐ 会社が運営

☐ クラブが運営

指導者の所属

☐ 顧問がコーチへ

☐ 会社所属

☐ クラブ所属

指導力

☐ 高い

☐ 高い

☐ 中

活動目的

☐ 運動部と同じ(勝利)

☐ ニーズに対応(勝利、健康)

☐ 多世代、多目的、共生

生徒負担

☐ 低い(運動部と同様)

☐ 高い(塾並)

☐ 低～中程度